

## 外国語科学習指導案

三次市立布野中学校  
教諭 藤本裕佳里

1 日 時 平成22年12月13日

2 対 象 第1学年 20名

3 単元名 Unit 8「はじめてのカナダ旅行」(NEW HORIZON English Course 1 東京書籍)

4 単元について

### (1) 単元観

中学校学習指導要領外国語では、「書くこと」の目標を「英語で書くことに慣れ親しみ、初歩的な英語を用いて自分の考えなどを書くことができるようにする。」と示している。また、内容(1)言語活動のE「書くこと」における指導事項の一つに、「語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと」がある。

本単元では、基本的な文法事項を効果的に提示できる場面設定がしてあり、疑問代名詞の所有格や所有代名詞などが、繰り返し本文中で取り扱われている。また、代名詞のそれぞれの格がまとめとして取り扱われている。語と語のつながりを意識しながら、既習文型をまとめて整理するのに適した単元であると考えられる。本単元を通して、取り扱われている言語材料に係る語順や語法を理解させ、正しく文を書く力を高めることができると考える。

### (2) 生徒観

英語で正しく文を書くことに対する生徒の意識について、アンケートを実施した。その結果から、95%の生徒が、難しさを感じていることが分かった。さらに、難しいと回答した生徒にその理由を選択させたところ、多くの生徒が、英語の語順や語法が分からないという理由を選択した。これは、これまでの指導において、生徒の書こうとする意欲を高めようとするあまり、正しい語順や語法を十分に理解させて文を書かせていなかったことに主な原因があると考えられる。

これらのことから、語の配列や修飾関係などの特徴や語の意味や機能を理解して文を書くことが十分でないという生徒の実態が明らかになった。

### (3) 指導観

正しく文を書く力を高めるために、カードを活用して、視覚的に、文の構成要素を理解させ、正しい語順や語法を理解させる。具体的には、視覚的に理解しやすいように、主語や動詞などの構成要素ごとに、カードの色を統一して提示したり、縦列を揃えて提示したりする。また、構成要素を意識させたり、英語と日本語との語順の違いを意識させたりするために、単元の基本文を、構成要素ごとにカードでまとめ、それらに対応する日本語を英語の語順で整理したワークシートを活用させる。その際、具体的な場面や状況を設定し、学習する言語材料と実際のコミュニケーションとを効果的に関連付けながら指導する。

5 単元の目標

- 積極的に言語活動を行い，コミュニケーションを図ろうとしている。（コミュニケーションへの関心・意欲・態度）
- 場面や状況にふさわしい文を，正しい語順や語法を用いて書くことができる。（表現の能力）
- **Where, Whose**, 代名詞などを含む文の意味や用法を理解している。（言語や文化についての知識・理解）

6 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 表現の能力	ウ 理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
積極的に言語活動を行い，コミュニケーションを図ろうとしている。	場面や状況にふさわしい文を，正しい語順や語法を用いて書くことができる。	/	①“Where is ～?”, “It’s ～.”の意味や用法を理解している。 ②“Whose ～?”, “It’s + 所有代名詞.”の意味や用法を理解している。 ③代名詞を含む文の意味や用法を理解している。

7 指導と評価の計画（全5時間）

時	授業のねらい	学習活動	評価規準	評価方法
1	Where is ～? の意味や用法を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新出単語を理解する。</li> <li>・カードを活用して，Where is ～? を含む文の構造を理解する。</li> </ul>	エ①	ワークシート
2	Whose～? の意味や用法を理解する。 所有代名詞を理解する。 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単語ドリルに取り組む。</li> <li>・カードを活用して，Whose ～? を含む文の構造を理解する。</li> <li>・単元の基本文を理解する。</li> </ul>	エ②	ワークシート
3	代名詞を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単語ドリルに取り組む。</li> <li>・基本文ドリルに取り組む。</li> <li>・カードを活用して，代名詞を含む文の構造を理解する。</li> </ul>	エ③	ワークシート
4	語順や語法を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本文ドリルに取り組む。</li> <li>・カードを活用して，既習文の語順や語法を復習する。</li> </ul>	ア	観 察
5	場面や状況にふさわしい文を正しく書くことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カードを活用して，場面や状況にふさわしい文を書く活動に取り組む。</li> </ul>	イ	ワークシート

## 8 本時の展開

### (1) 本時の目標

- Whose ～? を含む文の意味や用法を理解する。
- 所有代名詞を含む文の意味や用法を理解する。

### (2) 観点別評価規準

- “Whose ～?” “It’s + 所有代名詞.” の意味や用法を理解している。  
(言語や文化についての知識・理解)

### (3) 準備物：カード，ワークシート，電子黒板，CDプレーヤー

### (4) 学習の展開

時間	学習活動	指導上の留意事項	評価規準 (評価方法)
5分	1 Greetings, Warm-up		
10分	2 前時の復習 ○ 単語ドリル ・一斉口頭練習 ・席順に個人で発音 ・3分間ドリル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大きい声を出すように促す。</li> <li>・発音できない単語がある生徒には，個人指導を行う。</li> </ul>	
30分	3 本時の学習内容 ○ 本時の目標を確認する。 ○ 会話の場面を理解する。  ○ 口頭練習をする。 ○ 黒板の内容をノートに書き写し，整理する。  ○ ワークシートに取り組む。	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">誰の持ち物か尋ねたり，答えたりできる。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電子黒板で写真を数枚見せながら，  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     Whose bag is this?                      It’s (○○’s, his, hers, ours, theirs).                 </div>                     の対話の場面を理解させる。</li> <li>・電子黒板で写真を見せながら，繰り返し口頭練習をさせる。</li> <li>・代名詞の表を活用させる。</li> <li>・カードを活用して，“Whose ～?” “It’s ～.” が含まれている文の語順や語法を説明する。</li> <li>・英文を構成要素ごとに区切って提示する。</li> <li>・日本語も構成要素ごとに区切り英語の語順で記入したワークシートを活用させる。</li> </ul>	エ② “Whose～?” “It’s ～.” の意味と用法を理解している。(後日テスト)
5分	4 本時のまとめ ○ 振り返りを書く。 ○ 次時の学習内容を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の学習内容を確認させる。</li> <li>・予習内容を指示する。</li> </ul>	